

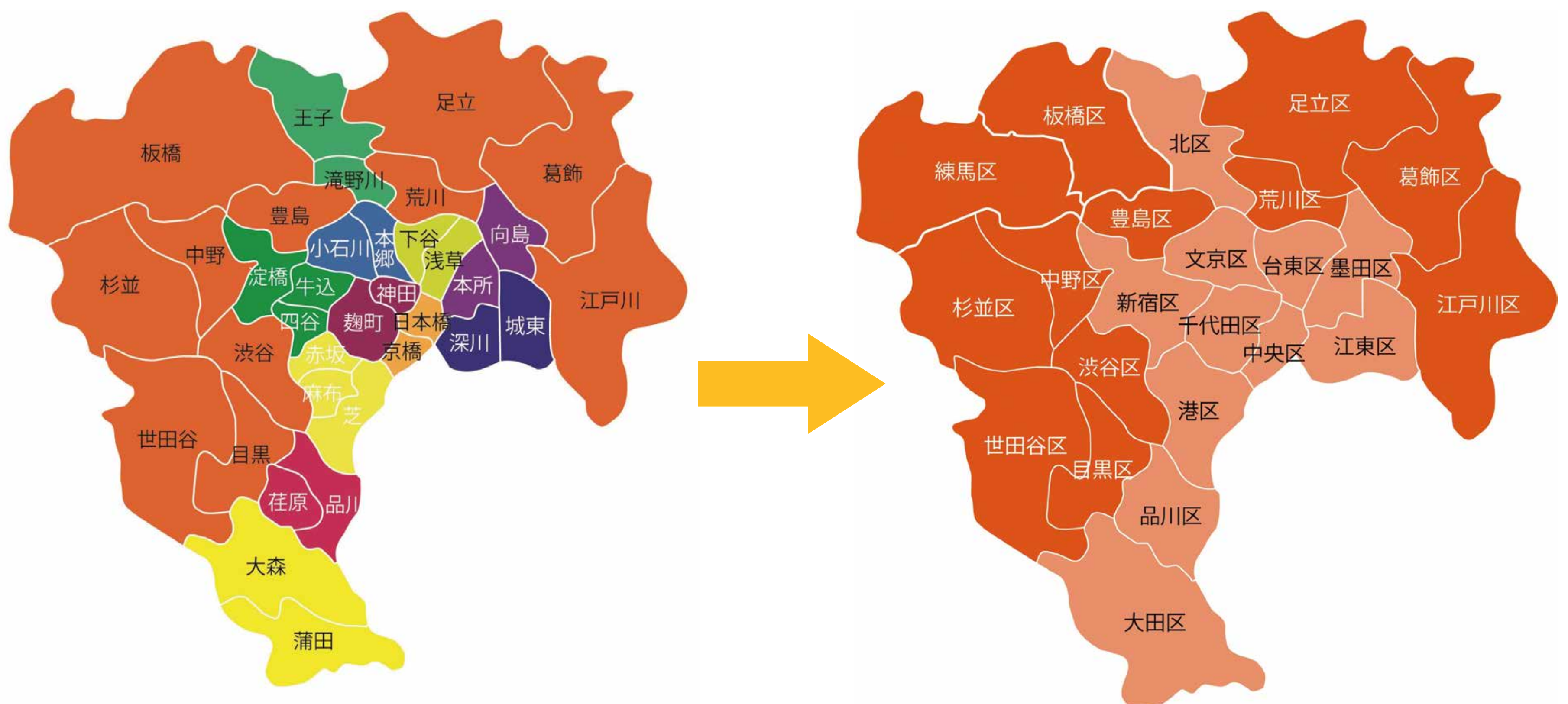
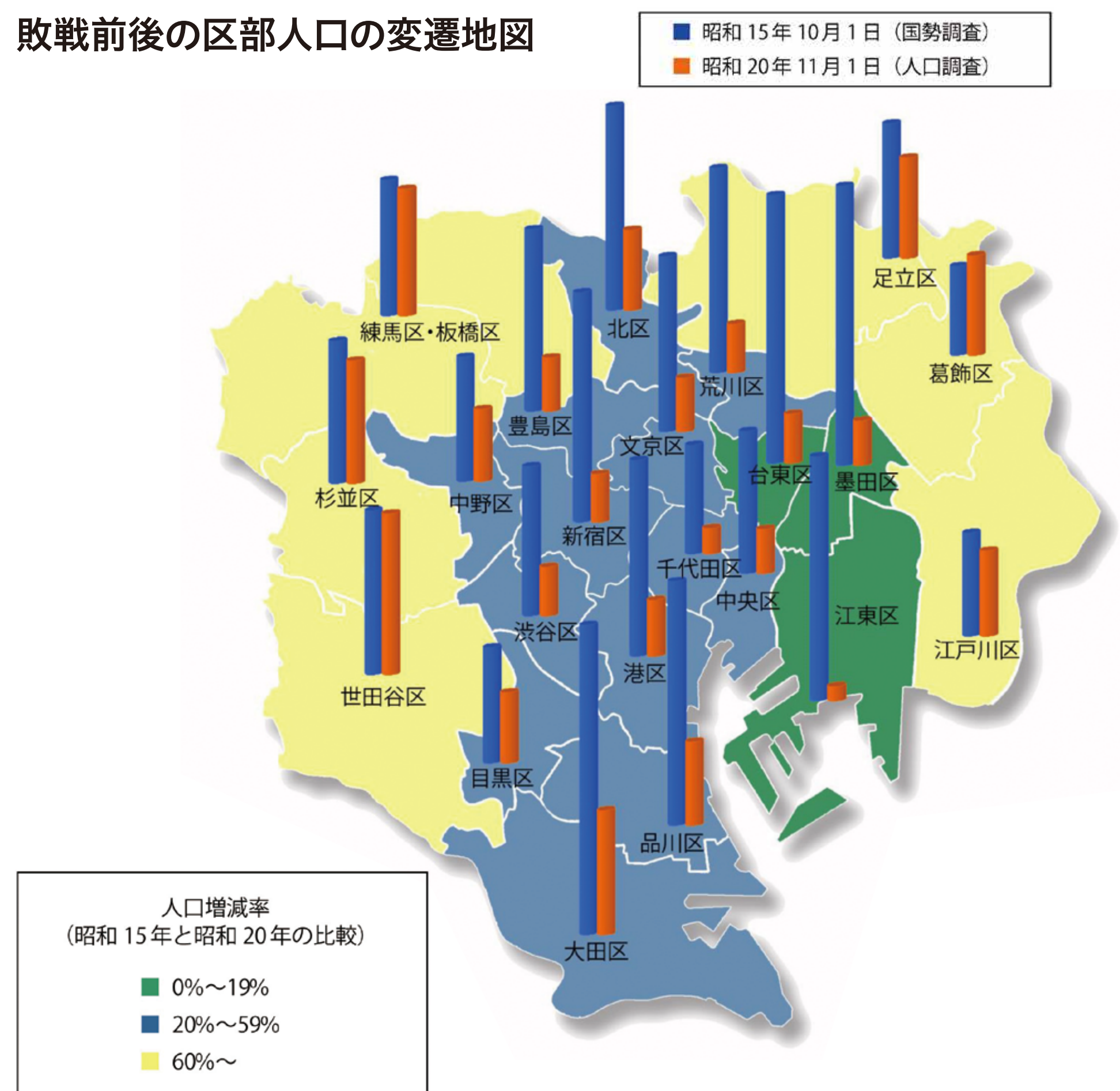
民主主義の礎

— 東京23区の成立

日本は、日中戦争から太平洋戦争へと続く戦争の時代に突入します。昭和18年(1943)7月には、戦時下の防空と都市行政の効率化を図るため、東京府と東京市を廃止し、東京都制が敷かれました。しかし次第に戦局は悪化し、激しい空襲により多くの尊い人命が失われ、東京は文字通り焼け野原となっていました。

戦後、戦災により崩れた人口バランスを回復しつつ、基盤のしっかりした自治体を作るため、35区の合併再編が目指されます。そして昭和22年3月15日にまず22区が成立、同年8月1日に練馬区が板橋区から分離独立し、現在に至る23区ができたのです。

敗戦前後の区部人口の変遷地図



人口減少の著しかった区を中心に合併統合が進み、35区から23区が誕生した。